

年間指導計画			観点別評価の評価規準		
月	単元・章・節	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5	木彫 コースター	8	材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら制作することができる。	使用する際の機能や造形的な美しさなどを、素材や形などの効果を生かして総合的に考え、表現の構想を練ることができる。	木の魅力や特徴に興味を持ち、用途や機能・素材の特徴を生かして制作しようとしている。
6	日本美術の鑑賞 (仏像の種類、日本の文化遺産、世界遺産等)	4	仏像の形や材料などの性質、顔や手の表情や質感などを基によさや美しさなどを全体のイメージで捉えることができる。伝統的な日本の美術についての知識や理解を深めることができる。	これまで受け継がれてきた表現の特質などから、仏像彫刻や建築物のよさや美しさを感じ取り、美術文化の継承と創造などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めることができる	日本の美術の造形的なよさや美しさに関心を持ち、主体的に美術文化の継承と創造などについて考えるなど、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
6 ～ 9	扇面点描画 修学旅行の思い出	12	修学旅行で学習してきた京都や奈良の日本美術の良さや美しさを感じ、材料の特性や効果を考えながら、見通しを持って創造的に表すことができる。	日本美術の美しさを感じ、それを鑑賞する意義について理解し、美術文化を味わい、感性を豊かにして表現することができる。	日本美術の造形的なよさや美しさ、表現の特徴、作者の思い等を味わい、美術文化を継承することへの意義などを考え、作品を通して伝えようとしている。
10 ～ 12	プッシュステンド 切り絵のステンドグラス	1	切り絵の技法を身に付け、丁寧な作業により、美しい作品を制作することができる。	切り絵に適した下絵を考え、ステンドグラスの制作に結び付けることができる。美しい色合いを考えて制作することができる。	ステンドグラスや切り絵の表現のよさや美しさを味わい、様々な作品を鑑賞しながら、自分の表現に生かすことができる。
12	鑑賞「ゲルニカ」	1	作品が描かれた時代背景を知り、社会における美術の力について考えることができる。	造形的なよさや、美しさ、人物や情景、構図や色彩等から作者の心情等を読み取り、作者の表現の意図と創造的な工夫について考えることができる。	美術の創造活動の広がりを考え、作品に込められた作者の訴えや表現の意図等について理解を深めることができる。
1 ～ 3	篆刻	5	篆刻の歴史や篆書体を学び、自身の印鑑としてふさわしい書体や鈕のデザインを考え、様々な道具を使用して計画的に制作を進めることができる。	材料のよさや美しさ、特性を生かしたデザインを考え、使用する場面を考えながら、多角的な視点でデザインを考え、計画的に制作を進めることができる。	材料の石のデザインを考え、削ったり彫ったりする中で、石材の加工技術、研磨作業に興味を持ち、主体的に計画を進め、意欲的に作業を進めることができる。
主たる評価材料			授業観察・作品・テスト・ポートフォリオ	授業観察・作品・テスト・ポートフォリオ	授業観察・作品・ポートフォリオ